

『犬の内科診療 Part 1』訂正とお詫び

ISBN978-4-89531-420-6

下記の箇所に誤りがございました。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

株式会社 緑書房

訂正箇所	誤	正
p.341 本文右段 (5) 脱水補正後の治療 の6行目～	<p>たとえば5 kgの犬が血漿Na濃度170 mEq/L（循環血液量等容性）を呈しているとする。5 %ブドウ糖（Na濃度0 mEq/L）を用いて静脈内投与によって治療する場合の式は、以下のとおりである。</p> $\Delta [\text{Na}]_p = (0 - 170) \div (\underline{5} + 1)$ $= -170 \div \underline{6}$ $= \underline{-28.3}$ <p>したがって、この場合5 %ブドウ糖液1 Lで症例の血漿Na濃度を<u>28.3</u> mEq/L減少させる。血漿Na濃度を0.5 mEq/L/hrで低下させることを目標とすると、1日で12 mEq/L減少させればよい。すなわち</p> $-12 \div (\underline{-28.3}) = \underline{0.424} \text{ L} \div \underline{424} \text{ mL/day}$ <p>つまり5 %ブドウ糖を<u>18</u> mL/hrで投与すればよいこととなる。</p>	<p>たとえば5 kgの犬が血漿Na濃度170 mEq/L（循環血液量等容性）を呈しているとする。5 %ブドウ糖（Na濃度0 mEq/L）を用いて静脈内投与によって治療する場合の式は、以下のとおりである。</p> $\Delta [\text{Na}]_p = (0 - 170) \div (\underline{5 \times 0.6} + 1)$ $= -170 \div \underline{4}$ $= \underline{-42.5}$ <p>したがって、この場合5 %ブドウ糖液1 Lで症例の血漿Na濃度を<u>42.5</u> mEq/L減少させる。血漿Na濃度を0.5 mEq/L/hrで低下させることを目標とすると、1日で12 mEq/L減少させればよい。すなわち</p> $-12 \div (\underline{-42.5}) = \underline{0.2823} \text{ L} \div \underline{282} \text{ mL/day}$ <p>つまり5 %ブドウ糖を<u>12</u> mL/hrで投与すればよいこととなる。</p>